

1. 理事長挨拶

2. 議事

▶委員長挨拶（渡森社長）

▶学校評価結果報告（出塚）

（参考資料1）評価については前年まで4段階評価だったところ、中心値が分かりづらい点から5段階評価に変えた。

▶コロナ禍における学校の取り組みについて（教頭）

①学園祭の作品

②卒業式の様子

③同窓会

▶来年度の重点目標（学園長）

職員の指導力を向上するため職員研修の機会も設けたいところだが、昨今は全国的にコンクールが行われず、講習の機会がない中なので、自分たちで独自で考えて組んでいきたい
学生も職員も感染対策を行いながら満足度をあげられるようにしていきたい

▶意見交換・審議

（古川委員）

同窓会のHPはお店の紹介が主だが、具体的にどのような活躍があるのか

（出塚）お店の紹介だけではなく、もう少し活用の工夫がしたい

卒業後の様子を紹介したら良かったと思った

（神子島）

発信がうまく行かないと伝わらないので、発信してどうするのが課題

新商品のアピールも良いし、常に変化していく世の中なのでそれに対応していく仕組みを作りたい。

LINEの公式アカウントを作るといい。アンケートを取ると圧倒的にLINEが人気

アクションが起こしやすく、インスタやツイッターなどよりもラインが使用度が高い

（理事長）オープンのお知らせは最近の人が多い？→最近の人が多い（昔の方もいる）

（三島）

三河でお米をつくっている点から、えぶろんと三河のJAや商工会と連絡をとりながらやっていくのは必要なのでは。いろいろな情報を交換できる。

これから何らかの関係のある組織とタイアップしてあたらしい物を考え、次に出すことが大事だと考える

(神子島)

コロナになってからステンレス関係の物が高騰している。ステンレスやアルミ製品は直近1.5～2倍もの値段になり、製造メーカーは受注を受けると赤字になるので作らないという選択。ボウルなど安く作れるものは中国からの輸入が主で、国内では赤字になるから作っていない。本当に必要なものはきちんと情報を仕入れて注文する必要がある。

アンケートを取る際はGoogleを利用すると、ペーパーレスになる他、集計の手間がだいぶ省けるので、そういった情報を仕入れていきたい。

求人サイトを利用し、県外から人材を集め家賃を保証するという試みをしてみたい。手取りが少なく通う距離があると能力はあっても働いてもらえないということがあるので、こういった制度は先生の採用にも活かせるのでは。

(社長)

コロナ禍やロシアーウクライナ情勢の中で、人と人との繋がりが大事だと感じる。SDGsの中えふろんがどのような取り組みをするのか考え、卒業生や新しい学生や家族・地域とのつながりを大切にしながら学校運営をしていただきたいと思います。

▶閉会の挨拶（教頭）

コロナはいつか夜明けすると思う。アフターコロナの時代に入り世の中は変わるのではないかと、変わらなければならないなと委員の皆様の意見を聞いて感じた。

委員のみなさまには今後とも意見を頂戴し学園長先生を中心に頑張っってやっていきたい。